

**第10回オープンスプリングスキー技術選手権大会**  
**2018 ジュニアスキー技術選手権大会**  
**第7回学童スキー技術選手権大会**

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. 主 催      | 栃木県スキー連盟   |
| 2. 期 日      | 平成30年3月25日(日)  |
| 3. 会 場      | ハンターマウンテン塩原 ☎ 0287-32-4587 (スキースクール)   |
| 4. 本 部      | スキー場ベースロジ2F  |
| 5. 大会会長     | 江連隆夫   |
| 6. 大会副会長    | 高根沢春彦、阿久津順夫、齋藤輝吉   |
| 7. 大会委員長    | 齋藤伸幸   |
| 8. 大会副委員長   | 小林英夫   |
| 9. 大会役員     | 新井和夫、篠原 浩、谷津三喜夫、磯 正嗣、劔持孝信、塩澤伸一<br>鈴木 滋、荒井 始、肥塚 靖、分田久貴、萩原秀侑、塚越保之  |
| 10. 組織委員長   | 小林英夫   |
| 11. 組織委員    | 新井和夫、篠原 浩  |
| 12. 技術代表    | 芳野哲也   |
| 13. 競技委員長   | 川俣聖寿   |
| 14. ジュリー    | 芳野哲也、川俣聖寿  |
| 15. コース係長   | 高野正基   |
| 16. コース主任   | 磯 正嗣   |
| 17. コース係    | 長嶋俊明、三森友洋  |
| 18. 主 審     | 齋藤貴次   |
| 19. 計算主任    | 分田久貴   |
| 20. 計算係     | 大島 充、伊澤明己  |
| 21. 審 判 長   | 神山健樹   |
| 22. 審 判 員   | 泉 裕之、児山将之、増渕耕樹、加藤康雄、川口 悟、足助彰信<br>齋藤利治、足助未央、塩生康幸、塚原祐一、後藤知昭、矢野隆司   |
| 23. スタート審判  | A班 渡辺朝生、渡辺勇太 B班 宗川忠貴、今泉宏之  |
| 24. 記 録 員   | 鈴木 滋、荒井 始、肥塚 靖、塚越保之  |
| 25. 報道係長    | 劔持孝信   |
| 26. 現地総務    | 荒井 始   |
| 27. 参加資格    | 傷害保険に加入済みの者。県内外を問わず、オープンスプリング技術選は、高校生以上でSAJスキー1級程度以上の技術者、学童技術選は小学校4年生以上の小学生で2級程度以上、ジュニア技術選は中学生・高校生で2級程度以上とする。(高校生以下の参加者は、保護者の同意が必要。また、中学生、高校生は所属する学校長の許可を得ること。)<br>なお、高校生でSAJ1級程度以上の技術者は、オープンスプリング技術選への参加を可とするとともに、その成績はジュニア技術選にも採用する。 |
| 28. 申 し 込 み | 平成30年3月20日(月)までに定められた申込用紙により県連事務局必着のこと。<br>(申し込み用紙はホームページ及び所属団体事務局にあります。なお、申し込み者氏名に必ずフリガナを記入すること。また、所属団体からの申し込みは、監督・コーチ名を明記すること。)  |
| 29. 参 加 料   | 5,000円(中高校生4,000円、小学生1,000円)(申し込みと同時に納入のこと)  |
| 30. 競 技 内 容 | 全日本スキー技術選手権大会競技規則に準ずるほか、大会開催要項による。   |
| 31. 日 程     | 開会式開始時間9:00 引き続き、選手会、競技  |
| 32. 大 会 受 付 | 選手の受付は、スキー場ベースロジ2F<br>大会受付は午前8時から8時30分までの間に行う。<br>(役員は午前7時30分までに集合)  |
| 33. ド ロ ー   | 事前にコンピューターによるドローを行います。   |
| 34. 開 催 要 項 |  |
- (採点方法) 2班編成で5審3採の合計得点とし公開とする。  
(順位決定) 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する。  
(表彰) 入賞者には、賞状ならびに景品を授与する。  
(強化選手) オープンスプリング技術選の総合成績男子30位、女子10位までの栃木県スキー連盟所属選手は、翌年度の栃木県強化指定選手に指定する。

35. 競 技 種 目

◆種目（4種目）

① 大まわり	急 斜 面	ナチュラル	フリー
② 総合滑降	総合斜面	ナチュラル	フリー
③ 小まわり	急 斜 面	ナチュラル	フリー
④ 小まわり	中 斜 面	不整地	フリー

※天候、コース状況等、特別な事情で種目・コースの変更があることを承知のこと。

※参加選手のウェア、使用するスキー台数の規制について

大会において使用出来るスキー台数は計2台まで、レーシングスーツ（ワンピース・ツーピース）の使用は認めない。

※参加者は、ヘルメットを着用すること。

36. 参 加 区 分

平成29年4月2日現在 高校生以上の者はスプリング技術選手権（SAJスキー1級程度以上）  
 高校生及び中学生はジュニア技術選手権（SAJスキー2級程度以上）  
 小学生は学童技術選手権（SAJスキー2級程度以上）

※高校生で1級程度以上の者は、スプリング技術選手権に参加可。

この場合、その成績はジュニア技術選手権にも採用する。